令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート					No.	19-3																																						
PDCA	主要事業名	後期高齢者医療助成事業	部課名	福祉部健康課 福祉部国保年金課	担当	大川																																						
					内線	356																																						
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 3 - 3 - 1 単位施策： 地域医療体制																																											
	全体事業期間： 令和 3年度 ~ 3年度 全体事業費等： 1,060,127 千円																																											
	会計 一般会計 歳出科目 03.01.02.08.51																																											
	3か年実施計画（当該年度事業費等）： ー 千円																																											
	事業概要等	<p>被保険者の生活習慣病の予防や疾病の早期発見を行い、健康保持・増進するため、健康診査を実施する。</p> <p>事業概要： また、現役並み所得者を除く被保険者の療養の給付に要する費用の一部を負担する療養給付費負担金、広域連合運営に係る市町村共通経費負担金の支払いを行う。</p> <p>事業目的： 健診により被保険者の健康の保持・増進、医療費の抑制を図る。また、法により市が負担することとなっている費用を支払い、制度の適正な運営を図る。</p> <p>事業内容： 後期高齢者医療制度被保険者の健康診査を実施する。また、法で定められた、市が負担すべき療養給付費負担金及び市町村共通経費負担金を支払う。</p> <p>問題点・課題等： 被保険者に対する健診の必要性の周知と受診率の低下防止に努める必要がある。</p>																																										
	予算額	主要事業とする理由																																										
	1,060,127 千円	健康診査を受診することで、疾病の早期発見、治療ができるとともに、医療費の抑制につなげ、制度の適正な運営を行うため。																																										
	財源内訳	得られる成果																																										
	市費 973,573 千円	健康診査の受診率を高めることで、被保険者の健康の保持、増進を図るとともに疾病の早期発見、早期治療を促し、医療費の抑制に努めることができます。																																										
	国費 0 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">後期高齢者医療健康診査受診率</td> <td>実績値</td> <td>59.12</td> <td>58.84</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>60.00</td> <td>60.00</td> <td>60.00</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位	後期高齢者医療健康診査受診率	実績値	59.12	58.84	—	%	目標値	60.00	60.00	60.00	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位																																							
後期高齢者医療健康診査受診率	実績値	59.12	58.84	—	%																																							
	目標値	60.00	60.00	60.00	%																																							
	実績値																																											
	目標値																																											
その他	実績値																																											
	目標値																																											
県費 0 千円																																												
その他 86,554 千円																																												
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																										
	1,050,793 千円	令和3年度の健康診査受診率の目標は達成できなかったものの、県内では4位の高い受診率であり、疾病の早期発見・早期治療による医療費の抑制に繋がっている。																																										
		成果指標			令和3年度	単位																																						
		後期高齢者医療健康診査受診率	実績値	56.05	%																																							
			目標値	60.00	%																																							
C 課題の整理	事業の評価・課題	<p>C</p> <ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者を対象とした健康診査受診率は、新型コロナウイルスによる受診控えの影響もあり目標に達しなかった。 令和3年度の受診率は県内でも高い水準にあり、疾病の早期発見・早期治療による医療費の抑制に繋がった。 医療頻回受診者への訪問指導、費用対効果が見込める一部の被保険者へのジェネリック医薬品差額通知の送付、後期高齢者医療制度新規加入者へのジェネリック医薬品希望シールの配付などにより、ジェネリック医薬品の普及・啓発に努め、医療費の適正化を図った。 																																										
		改善推進																																										
A 今後の課題の解決に向けた方向性	今後の事業の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者医療費が年々増加する中で、ジェネリック医薬品の更なる普及を図り、医療費の適正化・節減に繋げていく。 健康診査の受診を通院者へ勧奨してもらうなど、医師会との連携や更なる周知を行うことで、より多くの被保険者に疾病の早期発見、早期治療を促し、医療費の抑制を図る。 																																										
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																						
		①市の関与の妥当性	法定事務	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト	ない																																					
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	削減余地																																						
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	—																																						

予算見積書で活用

目標項目（予算計上時に作成）

主要施策の成果報告書で活用

評価項目（決算時に作成）